

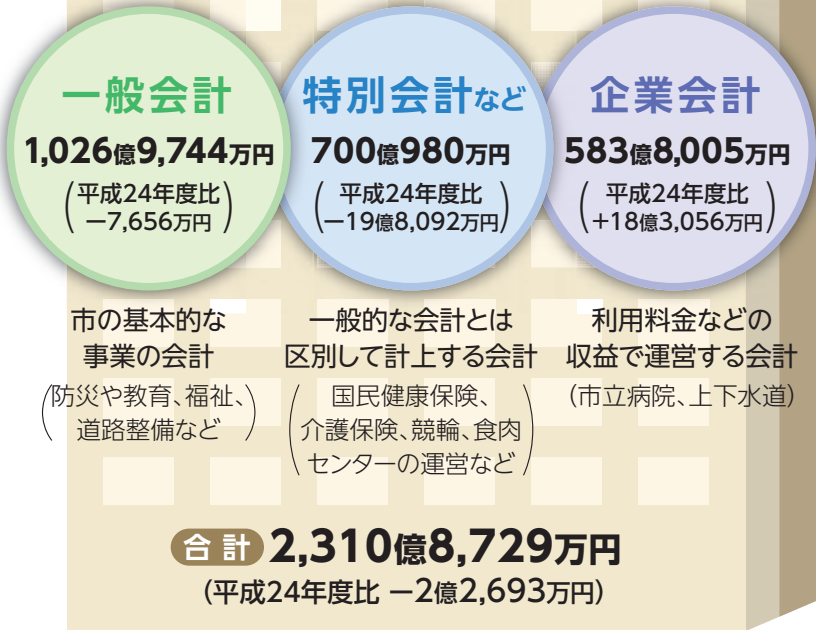
平成25年度

その
予算と使い道

四日市市の 今年度の 予算のあらまし

4月から新年度がスタートし、四日市市でも新しいまちづくりが始まりました。予算とは、この一年間で、市にどのくらいの収入があり、何にいくら使うか計画したものであり、歳出を見れば、私たち市民の暮らしのために、今年度、市がどんなことに取り組んでいくかが分かります。この特集では、今年度の予算のあらましとともに、私たち市民の暮らしに具体的にどのように関わっていくか紹介します。

市には 3種類の会計があります



■ 平成25年度予算の重点分野

市が現在、10年計画で取り組むまちづくりの目標である「みんなが誇りを持てるまち四日市～安心、元気・魅力、絆のあるまち～」の実現に向けて、「元気な産業と輝く文化のまち」「安心して暮らせるまち」づくりを重点に進めます。

元気な産業と
輝く文化の
まち

- 産業の元気・経済の活力の向上
- 文化、観光やスポーツの振興

安心して
暮らせるまち

- 子ども・子育て支援の充実
- 防災対策の充実

25年度の主な取り組みを紹介します

産業の元気と 経済の活力



新規 四日市市産業戦略の構築 1,120万円

日本有数の石油化学コンビナートをはじめ、多様な産業の立地する四日市。市もこれまで、産業支援策に力を注ぎ、製造品出荷額等は全国11位を誇ってい

ます。しかし、世界情勢の変化により大企業も中小企業も経営環境は厳しい状況にあります。そこで、新たに創設した「産業活性化戦略会議」において、既存の商工業の再生、高度化、革新および次世代産業の誘発などに向けて先導的な議論をしていただき、それを踏まえて四日市が21世紀の産業都市モデルとなり得るよう、効果的な産業振興戦略を構築していきます。



四日市市は、頑張る企業を応援しながら、まちの経済を元気にする取り組みに、しっかりと力を入れていくよ

これからも元気な四日市であるため、今が転換期。みんなで力を合わせたいね



こんな取り組みも
行います

- 市内の業者による住宅リフォーム工事の一部補助に **募集枠倍増** ……4,000万円

文化・観光 スポーツ



新規 博物館リニューアル 2億6,900万円

「(仮称)四日市公害と環境未来館」の博物館への併設とあわせ、20年経過した博物館の常設展示やプラネタリウムを一体的に改修します。平成26年度中のリニューアルオープンを目指しています。

文化や観光、スポーツの面からも四日市のシンボリックな魅力をどんどん発信していくよ



新規 東海道観光魅力アップ 350万円

東海道43番目の宿場町である四日市。歴史的な四日市の魅力を市内外に発信するため、観光街道としての東海道の活用策を検討するとともに、東海道の街歩きマップを作成したり、案内看板の整備などを行います。



ぼくたちのまち四日市。わくわくするような魅力ある四日市を目指してほしいな



こんな取り組みも
行います

- 図書館の改修(1階閲覧スペースの拡充、インターネット検索コーナーや郷土作家コーナーの開設など)に……3,500万円
- 中央緑地陸上競技場の夜間照明の設置に……3,460万円



防災対策



みんなが安心して暮らしていける四日市を目指して、防災にも力を入れていくよ

東日本大震災から2年。尊い命を守るためにも、災害への備えはとて大切だよ



新規 災害時緊急告知ラジオの整備 1億710万円

大きな地震や風水害が起こったときに自動的に電源が入り、災害情報や避難情報などを受信できるラジオを、災害弱者と言われる高齢者や障害のある人、自治会や地区防災組織などに配布します。



新規 指定避難所への鍵ボックスの設置 990万円

巨大地震が発生した場合、津波浸水が予測される区域内の指定避難所(小・中学校など30カ所)に、地震の揺れで自動的に開錠される鍵収納ボックスを設置し、すぐに、避難所へ避難できるようにします。

新規 防災ハザードマップの作成と全戸配布 3,000万円

国による大規模自然災害の被害想定の見直し結果を反映した防災ハザードマップ(地震・風水害編、津波編、津波避難マップ)を作成し、来年3月頃に市内全戸に配布します。

こんな取り組みも行います

- 防災行政無線の整備に……2億5,650万円
- 津波からの避難施設の整備(小・中学校の屋外階段や屋上手すり、自家発電設備)に……2億7,390万円

一般会計 歳出の内訳

子ども・子育て

安心して子どもを産み、育てやすい環境をつくるため、4月から子ども未来部を設置しました!



子育てがしやすい環境があると嬉しいね



新規 小学校1年生 30人以下学級(下限なし)の実現 3,614万円

幼稚園や保育園を卒園した子どもたちがスムーズに学校生活になじめるよう、四日市市独自の取り組みとして、昨年度から実施している中学校1年生に続き、小学校1年生も30人以下のクラス編制(下限なし)とします。



新規 郊外のモデル団地における 子育て世帯の住み替えを支援 1,500万円

市外から転入する子育て世帯が、郊外の住宅団地(モデル団地)の戸建中古住宅(空き家)を購入する際にリフォーム費用を補助します。また、モデル団地内の空き家を借家する際にも家賃を補助します。このような入居支援を行い、定住を促進することで住宅団地の再生を目指すとともに、人口減少、少子化対策にもつなげます。

まだまだこんな
取り組みも
行います



新規 市民協働の
新交通手段導入への実験
200万円

バス路線など交通弱者の移動手段の見直しが迫られている地区で、新たな交通手段の導入について市民の皆さんと検討を行い、社会実験を通じて実現化に向けた可能性を探ります。

総額 1,026億9,744万円
(平成24年度比 -7,656万円)

高齢者の福祉や
児童手当などの福祉分野が、
一般会計全体の3分の1に
なるんだね



長引く不況に加え、
高齢化が進む中、
これからも福祉分野の
予算は増えていくことが
予測されます



民生費
348億円
(+8億円)

高齢者・障害者の福祉や
児童手当、生活保護に

土木費
159億円
(-2億円)

道路や公園づくり、
その維持に



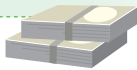
総務費
119億円
(+8億円)

防災や文化振興に



公債費
116億円
(-1億円)

借金の返済に



衛生費
103億円
(+1億円)

保健やごみ処理に



子どもたちが学ぶために



商工費 36億円(-5億円)
商工業を元気にするために



消防費 33億円(±0億円)
消防や救急に



農林水産業費 14億円(-1億円)
農業・漁業などを応援するために



その他 10億円(+0.4億円)

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しており、
合計と合わない場合があります

新規 24時間365日
在宅医療
支援病床の確保
1,260万円



高齢社会が進む中、住み慣れた地域で最期まで生活できるためには、在宅医療の充実が不可欠です。患者さんとその家族を支える在宅医が、その患者の入院が必要と判断した時に、スムーズに受け入れできるよう、病床確保のためのモデル事業を実施します。

新総合
ごみ処理施設の
整備
5億9,500万円



完成予想図

老朽化した北部清掃工場に代わり、平成28年度の稼働を目指して、新ごみ処理施設の建設を行います。

こんな
取り組みも
行います

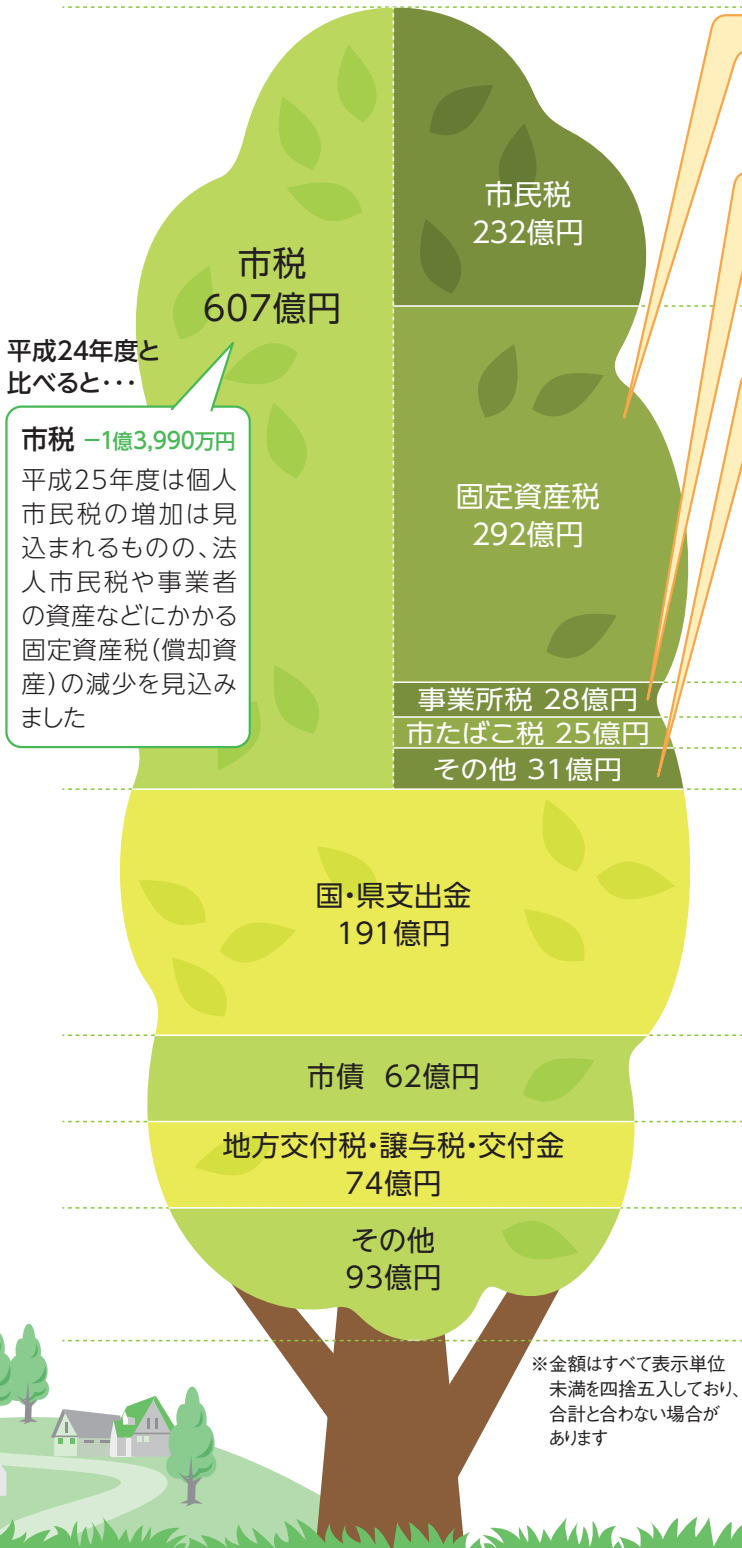
- 市立四日市病院の病棟増築・既設改修工事に……24億6,444万円



市の収入は どうなってるの？



一般会計 歳入
1,026億9,744万円



平成24年度と
比べると・・・

市税 -1億3,990万円

平成25年度は個人市民税の増加は見込まれるものの、法人市民税や事業者の資産などにかかる固定資産税(償却資産)の減少を見込みました

市税収入

四日市市の場合、市税収入が歳入の6割を占め、その中でも固定資産税の収入が最も大きくなっています。

- **固定資産税**は土地、建物、償却資産にかかる税金です
- **市税収入の約5割を占めています**
- 産業都市である四日市市では、固定資産税の中でも、事業用資産にかかる償却資産分の割合が大きいのが特徴です
- **事業所税**は、人口30万人以上の都市に立地する一定規模以上の事業所にかかる税金です
- 「その他」の内、主なものに**都市計画税**があります。都市計画税は、市街化区域内にある土地・建物にかかる税金で、公園・道路・下水道などの都市計画事業・土地区画整理事業に使われています

事業所税・都市計画税は 決まった目的に使われます

25年度事業所税の主な使い道

- 「防災対策(津波浸水対策など)」に ……3億円
- 「廃棄物処理施設の整備など」に ……2千万円
- 「道路や交通安全施設の整備など」に ……9億6千万円
- 「教育文化施設の整備」に ……3億6千万円
- 「下水道の整備」に ……8億6千万円

25年度都市計画税の主な使い道

- 「雨水・汚水の処理など」に ……19億8千万円
- 「公園の整備など」に ……8千万円
- 「土地区画整理整備事業など」に ……1億9千万円

事業所税の減免を延長します!

厳しい経済状況の中、市内の中小企業の負担を減らすため、事業所税を減額する特例措置を2年間延長することとしました。

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しており、合計と合わない場合があります

借金(市債)は どれくらい あるの?

一般会計での借金(市債)残高は、825億円。特別会計なども含めた、四日市市の借金総額は、2,053億円。それを人口で割ると…

※平成24年度末ベース



市民一人当たりの
借金額

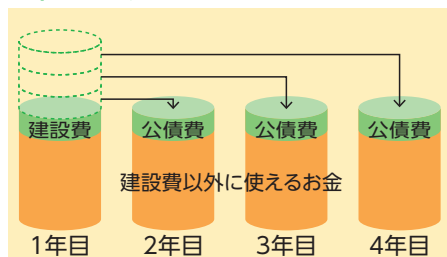
約66万円

四日市市人口:312,856人
(平成25年4月1日時点)

借金(市債)とは?

道路や学校など大きな施設の整備に必要な資金を借り入れしています。これらの公共施設の整備には一時期に多くの資金が必要になります。そのため、借金せずに賄おうとすると、施設を造った年度の負担額が大きくなり、他のサービスに影響が出てしまいます。借金をして分割返済すれば、その施設を使う将来の世代も負担することになるので公平な負担につながります。

●借金をすると…



●借金をしないで建設すると…

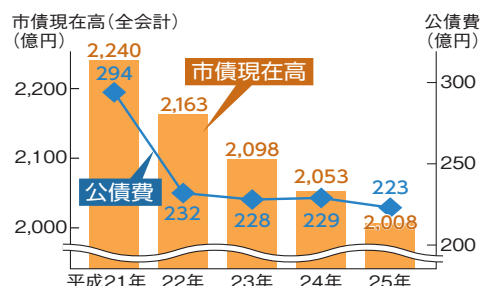


※公債費・借金(市債)の元金の返済金および利子の支払いに要する経費



借金(市債)残高は
どうなっているの?

市の借金を徐々に減らしています。「償還額(借金返済額)以上には借り入れない」という方針のもと、市全体の計画的な市債発行を行っています。



※市債現在高は各年度決算ベース、平成24年度以降は予算ベース

特別会計・企業会計など

一般会計から各会計へ
経費を支出しています

区分	取り組み内容	予算額 (億円)	対前年度比	一般会計 からの 繰入金(億円)	
特別会計	競輪事業	四日市競輪では、通年ナイターを開催するなど売り上げを伸ばしました。競輪事業での収益1億円は、一般会計へ繰り出し、社会福祉事業などに役立てています	147	-11.6%	0 (1億円を一般会計へ繰り出し)
	国民健康保険	市民の皆さんが安心して生活できるよう必要な医療制度を実施しています	289	+0.1%	15
	食肉センター食肉市場	市民の皆さんに安全で安心な食肉を供給するための事業を行っています	6	+3.5%	4
	介護保険	介護が必要な人に対する保険給付や総合相談支援などを行っています	186	+2.2%	27
	後期高齢者医療	75歳以上の高齢者の医療制度を実施しています	49	+2.3%	27
	その他	公共用地の取得や農業集落排水事業、土地区画整理事業などを行っています	23	-20.9%	8
企業会計	水道事業	安心しておいしく飲む水道水を安定して市民の皆さんに供給できるよう、水道設備の維持・運営を行っています	101	+0.1%	0.2
	病院事業	急性期医療を担う北勢地域の中核病院として、安全・安心で良質な医療を提供し、より信頼される病院を目指します	219	+0.6%	12
	下水道事業	浸水被害を防ぐための「雨水対策」、生活環境の向上やきれいな川や海を保つ「汚水対策」を実施しています	264	+6.8%	69
財産区	桜財産区	財産の一部をアスレチックコースなどとして貸し付けをしています。貸付収入で山林の管理をしています	0.4	+5.2%	0

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しており、合計と合わない場合があります

編集後記

「難しい言葉や数字が多くて分からない」というのが、「予算」に対する市民の皆さんのイメージかもしれません。そこで、今回の特集では、市民の皆さんの暮らしに関わりが深く、今年度、市が重点的に取り組む事業を中心に、できるだけ文字を少なくし、写真やイラスト、グラフを交えて紹介しました。今回の特集を通じて、市の取り組みやまちづくりに少しでも興味を持っていただければと思います。(財政経営課 一川、広報広聴課 渋谷)